

新しい美術館の整備事業について

大阪市 経済戦略局



アメデオ・モディリアーニ
《髪をほどいた横たわる裸婦》



佐伯祐三
《郵便配達夫》

新美術館のコンセプト／活動方針（『新美術館整備方針』より抜粋）

<コンセプト>

- 佐伯祐三や吉原治良に代表される大阪が育んだ作家の作品を中心とした第一級のコレクションを活かし、国内トップクラスのミュージアムをめざす。
- 「大阪と世界の近現代美術」をテーマとしたミュージアムとして、市立美術館や東洋陶磁美術館にはない、新たな魅力を創造する。
- 歴史的にも文化的にも豊かな蓄積をもつ中之島を拠点として、文化の振興や都市の魅力向上に貢献する。
- 民間の知恵を最大限活用しながら、顧客目線を重視し利用者サービスに優れたミュージアムとする。

<活動方針>

【活動方針】	【具体的な活動内容（例）】
さまざまな分野との連携	大学や企業・研究機関等との連携／アーティストやデザイナーとの協働
収集保存や調査研究の実施	世界に発信するアーカイブの構築
特色ある展覧会の開催	これまでにないアプローチで魅力的な展覧会を開催
交流の場の提供	ハード（建物）とソフト（活動）の両面における憩いの場の提供
教育普及の実施	学校／市民／こどもに対して、アートで学ぶプログラムを提供

施設整備の概要／スケジュール 等

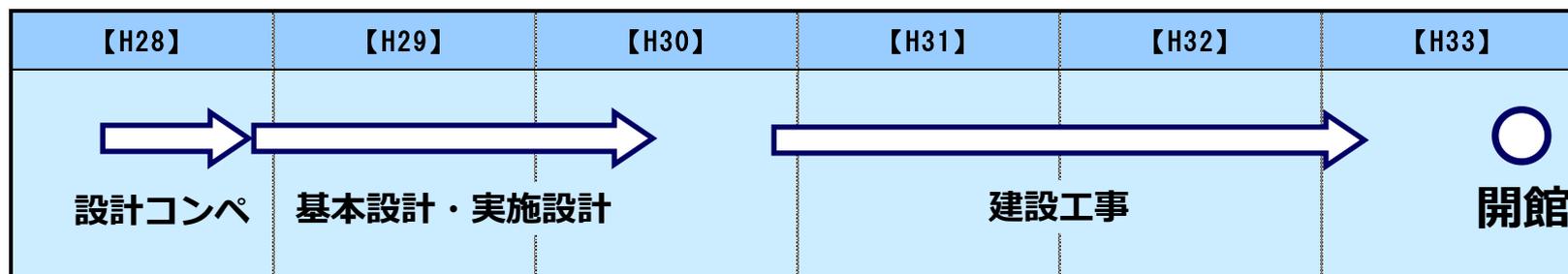
<施設整備の概要>

- 平成33年度中の開館に向け、現在は設計者の選定に向けた設計コンペを実施中
- 新美術館を含む博物館施設は、地方独立行政法人による運営をめざしている

美術館	展示室・パッサージュ（無料空間）等	15,000m ²
サービス施設	カフェ・レストラン・ショップ等	500～1,000m ²

※上記面積は駐車場を除く

<スケジュール（予定）>



<展覧会活動（今年度）>

- 展覧会「吉原治良の挑戦」（9月17日～11月27日／芦屋市立美術博物館）
- 展覧会「大阪版画百景」（1月18日～2月11日／府立江之子島文化芸術創造センター）